

霊的戦い、御言葉への攻撃

今日の聖書預言に入る前に、お伝えしておきたい事、特に先週ここに居られなかった方のために。先週は、今年の大統領選挙でクリスチャンとしてどう投票するべきかをお話ししました。今この話をお話しするのは、大統領選のわずか11日前に、FBIがヒラリー・クリントンの私用Eメールサーバーの捜査を再開するとのニュースを受けての事で、これはかなり衝撃的な事です。次にどうかご理解いただきたいのは、ある人たちが、大統領選はおこなわれないだろう、と言っていることは私も認識しています。今回の出来事で、それが、さらに現実味を帯びて、そのように考える理由も、わかります。それでも、私はまだ、神の人々による祈りが、全能の神の御手を動かしていると信じています。私がそう思う理由は、霊的次元での戦いが証拠です。これは、今まで私が生きてきた中で、見たことのないレベルです。私は神の人々が祈っているのを知っています。それも、アメリカ国内だけでなく、神の人々がアメリカの為に祈っています。現在起こっていることを、目撃している、今は、特にです。神は、そのみ言葉に忠実で、私たちの声や、叫びに、耳を傾けてくださると信じなければならぬ、憐みを乞う、私たちの叫びです。私の祈りは、これからやってくる日に、神が私たちの国に憐みをかけてくださるということなのです。今日の礼拝の前に、兄弟と話をしていた、面白かったのが、政治評論家が、自分たちの見解を述べて、現在起こっている事態を説明しようと、コメントをするのを見ていましたが、彼らも他の人と何ら変わらず、首をかしげているのです。これは前代未聞です。これには目的があつて、その目的とは、我々が思いもしないようなことだという憶測も出ていてそれについても、私は理解しています。でも、いつも言いますが「しかし、神が、」しかし神が、、です。‘陰謀論’だと、言っているのではなく、ある人たちが言っているように、これが‘投票によって’選ばれた大統領ではなく、予め選ばれたものだったとしても、神が最後の決定権を握っておられるとは思いませんか？神は全知であり、遍在で、全能、全ての力を持っておられる、何でも可能な方ではなかったですか？これらを見ながら、最後の決定権を握っておられるのは、神ではありませんか？当然そうです。主に出来ないことは、何もありません。全てが暴露され、全ての事が表に出てきているのかも知れません。ところで、どこから話し始めて良いのかも分かりませんが、皆さん大体ご存知でしょう。

これが、どれほど深刻であるか、これは、ものすごく深刻ですよ。そして、これが結局どうなるか、結論は出ていません。恐れを抱いている人たち、私は恐れていませんよ。私は恐れませんが、神はとてつもない憐み深い神で、憐みをかけて下さると信じています。それから更に私が信じているのは、これに関して、あまり時間を取るつもりはありませんが、これによって、皆さんを励ましたいのです。私は神が霊的次元で何かをされようとしていると信じています。先週にも言いましたが、私が心から信じているのは、格闘は、血肉に対するもので

はなく、民主党、共和党の戦いでもなく、イスラム教、クリスチャンの戦いでもない。そう
でなく、

『私たちの格闘は、主権者、この暗闇の世界の支配者たち、また天にいる、もろもろの悪霊
に対するものです』(エペソ 5 : 12)

それが今、起こっているのです。人の魂をめぐる、霊的な次元での戦い、そして、私たちに
は、全能の神の御手が、神の人々の代わりに、ご介入されるのが、見えています。神の人々
が、祈っているからです。なので、2つの事を、お願いします。祈り、そして投票して下さい。
祈り、投票。祈りと、投票です。

では、預言アップデートに行きましょう。今日もお話しすることが沢山あります。今回たく
さん祈った結果、木曜日に少しお話ししたことに関して、お伝えしようと思います。木曜日
の夜に、なぜ、それを話したかという、私たちが平日行っている、聖書の学び、旧約聖書
を通して学ぶ事に関してだったからです。ご存知ない方も居られるかもしれませんが、木曜
日の夜 7 時より、ここで旧約聖書を学んでいます。創世記から始まって、出エジプト記、レ
ビ記、申命記、ヨシュア記、士師記、第一、第二、サムエル、第一、第二、列王記、第一歴
代誌と進んで、現在は第二歴代誌、それが終われば、エズラ記、ネヘミア記、エステル記、
ヨブ記、詩篇、箴言は楽しみです。きっと、箴言の後に携挙が起こるのでしょうか。もしそう
でなければ、その次に、伝道の書、エゼキエル書、ダニエル書、ホセア書、ヨナ書、ミカ書、
ナホム書、ハバクク書、ゼパニヤ書、ハガイ書、ゼカリア書、小さい預言の書から、当然エ
ゼキエル等の大きな預言書、特に、聖書預言に関する書ですが、木曜の夜は、書から書へ、
章から章へ、節から節、更に加えるなら、文字から文字へと、聖書を細かく学んでいます。
と言っても、私たちの学びの中では名前がずーっと並ぶような箇所は、省くときもあります
が、省かない場合、私はヘブル名を、アラブ語の発音で読み上げます。それは、ともかくと
して、大部分は、全ての章、全ての書に書かれた、神の文字を一つ一つ学んでいます。それ
と同じ理由で、今日預言アップデートで、お伝えしなければと思っている事と、その理由は
これです。これは、毎週の預言アップデートにも、関わることで私たちは、これを 2006 年
から始めています。あの時「私たちが、人間史の終わりの時に差し掛かっている」と、主が
私の心に訴えかけて下さり、「いままでに見たこともないような事が、これから起こる」と。
それが 2006 年です。そこで、預言について毎週教える時が来ていると思いました。当時は、
まだ礼拝の後半ではなく、初めのほんの 10 分ほど、15 分ほどの間に世の中で起こっている
ことを伝えたのが、様々な事が起こり始めた為、10 分が 15 分になり、それが 20 分になっ
て、30 分になって、40 分になり、時にはさらに長くなる事もあります。なので、今これ
をお伝えしておくのは、良い事だと思うのです。

何の事かという、最近開催された、カルバリーチャペル牧師カンファレンスで、カルバリ
ーチャペルの有名な牧師が提言した内容について、公平に行う為に、後ほど、このカルバリ
ーチャペルの牧師が、金曜日に自身のフェイスブックに投稿した文章を全文読み上げます。

しかし、それと同時に、この教会の地元の皆さんと、オンラインで世界中からご覧頂いている皆さんには、ハッキリとお伝えしておきます。多くの方がこれに関して、質問されたので、それに応えて、明確にしておきたいと思います。私は、これまで揺るぎない決意を持って聖書の 66 書全書を、探索し、教えて来ました。私はどの牧師に対しても、侮辱したり、見下すつもりはありません。尊敬している牧師も多くいます。しかし神のみ言葉を創世記から黙示録まで全書を通して教える事に対する攻撃が増大しており、それも聖書預言を教える事に対する攻撃はどんどん悪化しています。それに関しては、後ほど詳しくお話しします。次にお伝えするのは、先ほどお話したカンファレンスの間に行われた Q & A で出た質問です。

Q「聖書の 66 全書を教えなくても、神のご計画を教える事は出来るのではないか？パウロは‘神のご計画の全体’を聖書 66 全書全部教えるという意味で言ったのではないと思う。新約聖書全体が神のご計画の全部だとは思わないか？旧約聖書の主要な部分を説明するのに必要な情報は新約聖書の中に全て書かれている」これは聖書を全書通して教える事に関してで、次は聖書預言について。Q「チャック・スミス牧師の教えは、陰気臭くて、落ち込むばかりだ。また彼は終わりの時の教えや携挙の預言について語り過ぎた。毎週、毎週エゼキエルの 38 章の太鼓を叩いている牧師には、それを控えるよう言いたい」

ハイ、公平を行う為に彼の全文を読み上げていきます。

A「恐らく、皆さんは私が信仰を捨て、旧約聖書、聖書預言、携挙について教える事を止めるように牧師たちに伝えたと、見聞きしているでしょう。彼らの言い分はどれも真実ではなく、私はこれまで 3 度聖書を通して教えて来て、現在は創世記を教えており、私がカンファレンスで牧師に言ったのは、日曜の朝に聖書を学ぶのは最善の方法ではないと思う・私は日曜の朝は新約聖書を通して教える事を薦める。私たちは新約聖書を通して、救われ、新しい制約のもとに生きているのだから。また日曜の朝に、何を教えるべきかについて私たちは聖霊の導きを求めるべきだとも伝えた。そして聖霊がレビ記を教えるようにと導くなら、そうすべきだ。私は最近、平日の聖書の学びの時に、黙示録を教え、日曜の朝は、その中から説教をした。黙示録を教える中で、私は当然、聖書預言についても教え、携挙についても教えた。誤解されている。私が牧師たちに伝えた内容は 1 つの特定の神学に注目し過ぎないように、我々は気を付けるべきだと言う事で、毎週終わりの時について、教えるのは、教会の人々の生活にバランスを欠くことになる。また私は、その牧師カンファレンスの討論会の最中に、聖書を創世記から黙示録まで、章から章へ教えるカルバリーチャペルのやり方と神のご計画の全部を教える意味についても語った。私が言いたかったのは、たとえこれが、カルバリーチャペルの伝統的なやり方であったとしても、中にはこのやり方に従いながらも、神のご計画の全部を、教えられていない者について、考えるべきだという事、過去の教会史の中で、多くの神の人達が、聖書を創世記から黙示録まで通して教える事がなく、神のご計画の全部を、述べ伝えることが出来ている。初めに使徒自身がそうだった。このやり方に従うようにとは、聖書のどこにも書かれておらず、宗教改革家たちも、ピューリタンも、ウェス

レーも、ライルも、スポルジョンも、モーガンも、ロイド・ジョーンズも、バーンハウスも、ストットも、それ以外の人たちも、実際問題、チャック・スミス牧師自身、彼のミニストリーでこれに従っていなかった。彼は、ベイリーの聖書解説書を読んで、この聖書を通して教えるやり方を思いつき、これが良い教えである事は、多くの場面で証明されている。しかし、それがまるで、神のご計画の全部を教える唯一のやり方であるかのように、たてまつらないようにしよう、これが私が牧師の集まりで言ったこと、或いは言おうとした事で彼らが私に賛成しないならそれでも構わない。ただ私は、自分の言った事と、言わなかった事をはっきりしておくのは、良い事だと思う」

良いでしょう。この弁明に感謝しつつ、カルバリーチャペルの牧師として私は皆さんに、はっきりと伝えておきます。私は、何に関しても差し控えるつもりは、一切ありません。そして、これからも毎週聖書預言の太鼓を叩き続ける、私が死ぬか、携挙される時まで。もう少し時間を割いて、伝えたいのは私が大変危惧している聖書の次の 3 箇所です。これは過去にも、危惧している事として、お話ししましたが、それはさらに増大していて、何かそれは何かというと、神のみ言葉である聖書と聖書預言に対する攻撃がどんどん増大していることです。もっと具体的に言うなら、患難前携挙の健全な教えに対して、これが現在、まさにサタンの激しい攻撃にあっていて、しかも内部からの攻撃です。先週、受け取ったEメールには、名前は書かれていませんでしたが、私に対する偽の批判で「患難前携挙を信じていない人は、救われていない」と私が言ったといひます。私は、一度もそんなことは言った事がない。それは、皆さんがご存知ですよ？そんな事は、一度も言った事はありません。しかし、明らかに間違った批判を受けていて驚きもしませんが、批判をしているのは、患難前携挙を信じていない人です。繰り返しますが、私が大きく危惧しているのは、これらがどんどん悪化して行く事、簡単に言うと、患難前携挙は、クリスチャンの間で、緊張感が高まる話題で、それを語る時、私は軽い冗談を交えるように意識しています。そして私が言っているのは、ただシンプルにへりくだって、「意見が食い違う」という事に、快く同意しようじゃないですか。それから、もう一歩だけ踏み出して、言わせて下さい。上に上がる時「だから言ったでしょ？」と言いますから。と言っても、これは事実ではありませんよ。そんな時間はありませんから。『瞬く間に』、という事は、何百万分の一秒で、急いで言っても全部は言えない。でも、やってみるかも？分かりませんが、とにかく明確にしておきます。艱難前携挙を信じていなくても、再誕して救われていれば、あなたが、信じず攻撃している患難前携挙で、あなたも挙げられます。これで、スッキリしました。これに関して言いたいことは、それだけです。私が読みたい聖句の第一番目は、第二ペテロ 3: 3-10、この中で、使徒ペテロが終わりの時には、主が来られる事をあざけり、主の来られるのが近い事を信じる者が、バカにされると伝えていきます。

『まず第一に次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来て、あざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言うでしょう。「キリスト来臨の約束はどこにあるのか。先祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままでは

ないか」こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は**神の言葉によって**、水から出て、水によって成ったのであって、当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。しかし、今の天と地は、同じみ言葉によって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びの日まで、保たれているのです。しかし、愛する人たち、あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。主は、ある人たちが遅いと思っているように、その約束の事を、送らせておられるのではありません。かえって、あなた方に対して、忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、全ての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消え失せ、天の万象は焼けてくずれ去り、**地と地のいろいろなわざは、焼き尽くされます』**（第二ペテロ 3：3-10）

言い換えれば、終わりの時、主がすぐに来られ、7年の患難の前に、教会を携挙されるという健全な教えを未だに信じる者を、あざけり、バカにする者が増大する。次の聖句は、使徒行伝 20 章 26 節から 28 節まで、読んでみます。神のご計画全てを教える事と私たちの神の群れを、世話するように任された者に対する、使徒パウロの警告を、ルカが記しています。彼はこう言っています。

『ですから、私はきょうここで、あなたがたに宣言します。私は、すべてのひとたちが受けるさばきについて、責任がありません』（使徒行伝 20：26）

これはかなりきつい論調ですよ。なぜ、全ての人たちが受ける裁きの責任を負いたくないのか？それは、

『私は、**神のご計画の全体を、余すところなく、あなたがたに知らせておいたから**です。あなたがたは、自分自身と群れの全体とに気をつけなさい。聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなた方を群れの監督にお立てになったのです』（使徒行伝 20：27-28）

どうか、この続きを最後まで読んでください。パウロは、3年間、昼も夜も涙と共にひとり一人を訓戒し続けてきた。3年間です。それは、自分が去った後、群れの中の羊の毛皮をかぶったオオカミが来て、群れを荒らしまわること、彼は知っていたからで、そのことが、使徒パウロを非常に悩ませたのです。

3つ目の聖句は、第二テモテ 3：16 から 4：5 までを読んでみましょう。ここでは、パウロがこの若い牧師テモテに、注意を促しています。彼は、終わりの時、人々が健全な教えや、純粋な神のみ言葉に耳をかたむけなくなると警告しています。彼が言っていることに、よく注意して聞いてください。

『**聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練との為**に有益です』
（第二テモテ 3：16）

ちょうど、第二コリント 7 章で話をしたばかりです。それがあなたを完成させ、あなたを全うするのです。完全に、全て、です。

『それは、神の人が、すべての(=聖なる) 良い働きのためにふさわしい十分に整えられたものとなるためです。(第二テモテ 3 : 17)

そのため、4章で彼はこう言います。

『神の御前で、また、**生きている人と死んだ人とをさばかれる**キリスト・イエスの御前で、その**現れ**とその**御国**を思って、私はおごそかに命じます』(第二テモテ 4 : 1)

この二つの描写に、気づきましたか？ 2節のここをよく聞いてください。

『**みことばを宣べ伝えなさい**。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分に都合のよいことを言ってもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、真理から目を背け、空想話にそれていくような時代になるからです。しかし、あなたは、どのような場合にも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。』(第二テモテ 4 : 2-5)

ここで、パウロがテモテに説明しているのは、これからやってくる時代は、人々は神の御言葉を教える教会に行き、じっと耳を傾ける様な事をしなくなる。彼らは、健全な教えを語るものを、容赦しない。さらに言うなら、ペナルティーを与えるようになる。彼らは、その境界に行かず、別の教会に行くことで、ペナルティーを与え、さらには罰する。

御心ならば、1月にはここにも良い椅子が入りますが、第一に『座り心地の良い椅子のある教会』、そして『説教は20分ほど』、『聖書は持ってきてもいいけど、別になくても構わない』『その辺から、いくつか適当に聖句を引用するけれど、でも、とにかく素晴らしいショーをご覧ください』。あれはパフォーマンスで、娯楽です。そして、そしてそれら延々と続くパフォーマンスの後に、ようやく牧師が立ち上がって説教台に立ち、聖なる神の聖なる御言葉が語られるべき、神聖なる場所、説教台の後ろに牧師は立って、罪やイエス・キリストの血潮や救いについて語らない。その代り、彼の教会に集まった膨大な人数の集会が聞きたいことを語る。そうすれば人がまた戻ってくるから。人が聞きたいこととは？「あなたは良い人だ」「あなたは、心の優しい人だ」「神はあなたを愛しておられる」「神は、あなたに最高の人生を与えたいのだ」これが、人が聞きたいことです。これが彼らが聞きたい、自分の都合の良い事です。そしてパウロが言っているのは、終わりの時、**御言葉**を宣べ伝えたら、神の御言葉の**ご計画のすべて**を伝えたら…人はもう戻ってこない。皆さんも、“小さい教会”という言い方を聞いたことがあるでしょう。だから、私はいつも言うのです。自分の教会を持つなら、幅 1.6 km で、深さ 2.5 cm の教会よりも、幅 2.5 cm、深さ 1.6 km の教会を持ちたい。なぜなら、私もいつか神の前に立って、日曜の朝や木曜の夜(バイブルスタディ)に、自分がしてきた事の責任を問われるのです。そして、私も使徒パウロと同じように、神のご計画のすべてを教えず、人の血の責任を自分の手に問われるようなことはしたくないですから。また、私は忠実な管理人でありたい。聖書預言の太鼓を毎週叩かず、何かが起こるより、警笛を鳴らし続け、聖書預言の太鼓を毎週毎週叩き続けて、何も起こらない方が、良い

と考えます。私は、人にへつらって楽しませて地獄に送るなら、むしろ反感を買ってでも、天国へ導くことを選びます。私は、人にへつらって、楽しませて、耳障りの良い事だけと言って、人を地獄に送るよりも、反感を買ってでも、人を天国に導く方を選びます。皮肉なことに、**Joel Rosenberg** の最近のブログ記事によると、現在、イスラエルの指導者たちがユダヤの人たちに、聖書全部を、書から書、章から章を、細かく読む様にと勧めています。**Joel Rosenberg** の記事を引用します。衝撃的ですが、事実です。おそらく大手メディアで聞くことはないでしょう。しかし、イスラエル指導者の多くが、ユダヤ人に聖書を全部通して、聖書全体を節ごとに、章ごとに読むようにと勧めています。オバマ大統領や他のアメリカの指導者たちがアメリカ人に聖書全体を読む様にと呼びかけるのが、想像できるでしょうか？私にもできません。ここ、イスラエルの流行りが世俗化している中で、これはかなり驚きですが、全面的に勇気づけられる展開です。多くの方が、疑っているでしょうが、これは真実です。最新のニュースはこれです。－記事引用－“イスラエルのベンジャミン・ナタニヤフ首相は、学校の新学期に、神のみ言葉と、ユダヤ人の相続について、聖書的なルーツを発見するようにと子供たちに勧めた”。

パウロが、ユダヤ人のねたみを引き起こす（ローマ11：4）事について語ったのを思い出します。これ以上の方法があるでしょうか。特に、ユダヤ人がアラブ人の私と、彼らの神との間の個人的な関わりを見たとき、また、イスラエルに行ったときに感じたのは、私が持っている彼らの聖書に対する知識と理解、それから彼らの聖書に対しての私の愛に、彼らのねたみが刺激されていました。私と彼らの神との関係だけでなく、彼らの聖書に対する私の理解にも、彼らは妬んでおり、パウロはそれを意味していたのです。ねたみを引き起こす（ローマ11：4）。**Joel Rosenberg** と言えば、2012年8月にホノルルで行われたカルバリーチャペルの牧師カンファレンスでメッセージをしています。覚えている人もいるでしょう。なぜそれを話すかと言うと、その時彼が話したのは、「聖書預言の目的と、威力を、再発見する」。私も、このカンファレンスで話をしましたが、最後に私が言ったのは、「聖書預言を教える事で、人々の人生が変わっていくのを目の当たりにしている」「私が牧らせていただいている教会全体の人生が変わるのを、目の当たりにしている」ということ。何故かと言えば、ヨハネが言ったように、聖書預言を知る事によって、人は自分を清めようとするのです。

『御子にこの望みをかけている人はみな、御子が清いように、自分を清めます』（第一ヨハネ3：3）

聖書預言が、私個人の人生にもたらした事の一つは、私のこの世と、この世の物への執着を解いた事、この世は私の家ではないという事。その事で、どれだけ解放されたでしょう。見事に解放されました。それは聖書預言によって、私は悟ったからです。

『神のラッパの響きの「うちに、キリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、宮中で主と会うのです』（第一テサロニケ4：16－17）

これはまた別の機会に話すとして、聖書預言に関して、これは若い人たちにとっても言えることでしょう。若い人たちにとっては、目の前に人生が広がっている。毎週教会に行けば、耳にするのは、「主が戻ってこられる、計画を立てるな」なんてことは全く違います。「**主が来られるまで、主の業に励みなさい**」。私にも十年計画があります。と言っても、それを握りしめてはおらず、こんな風に手のひらを広げています。もし主が今夜戻ってこられて、私の計画が台無しになっても、「主、イエス早く来てください」と言います。ともかく、若い人たちよく聞いてください。もし主が、君たちが結婚する前や子供を持つ前に、仕事に就く前に来たとしたら、「大きな将来が待ってるのに！」と思うかもしれない。これもまた、別の時に話すべき話題なのでしょう。とにかく、若い人たちに言いたいのは、天国で、誰一人として、こんな風に言う人はいない、「主が、来なかったら良かったのに」。いいですか？私にも若い頃がありました。今でも覚えていますよ。妻と結婚する前は、「主よ、どうかまで来ないでください」「結婚するまでは、まだ来ないでください」と祈り、そして、結婚したら「ああ、主よ！今来てください!!」「今来てください！」ですよ？それから、私たちは結婚してからも10年間子供が授からなくて、長男が出来たときは、「主よ、生まれるまでは、まだ来ないでください！」そして生まれたときには、6か月ほど寝れなくて、「主よ！今来てください!」「今すぐ来てください!!」「ただ眠りたい」「ただ、眠りたいのです」。ふざけた言い方をして申し訳ないですが、つまり要点は、天国では、だれも主が来られたことで、人生を損したとは思っていない。天で待ち受けている事と、比べること自体間違いです。我々は今はぼんやりと見ていますが、我々を待ち受けている栄光は、比べ物にならない。言葉にできないほどの栄光なのです。

Joel Rosenberg は、なぜ牧師たちが現代、聖書預言について教えないかについて説明しています。その中で牧師たちに、聖書預言の威力を再発見するように助言しています。彼のカルバリーチャペルのカンファレンスでのメッセージは、オンラインでご覧いただけます。

Joel Rosenberg のブログで、“**Why pastors are not teaching The Bible prophecy today**”と検索すると記事が出てきます。今回は、その中で彼が伝えた「牧師たちが聖書預言を教えない理由」のうちの4つだけをお伝えしようと思います。

第一に、多くの牧師が聖書預言を教えないのは、『彼らが神の御言葉が持つ威力を信じていないから』。私はこれが主な理由だと思っています。第一に、彼らは神の御言葉に確信を持っていない。彼らは、神の御言葉が持つ威力を信じていないのです。第2番目に牧師が預言を教えない理由は、『聖書預言に関する知識がなく、また健全な訓練を受けていない』。これは私も言いますよ。もし、聖書を正しく知りたいなら、日々御言葉を調べなければなりません。証明するためには、勉強しないとイケない。聖書預言に関わることは、聖書に関して実に詳しく理解する必要があり、たくさんの労力を要します。そして、多くの牧師たちがそれを怠り、サーフィンやゴルフを選んでる。先週ある人に話していたのですが、みんながハワイ生活を楽しんでいる中で、私は聖書に顔を埋め込んで、勉強しているのです。私も自分の住んでいるハワイを堪能したいですよ。でも、多分私が仕事中毒だというものもあるでしょ

うが、それと、私にはそういう時間は許されていないのです。週1回の預言アップデートの準備に、丸々1日かかります。だからインターネットで誰かが、「週3回は、アップデートするべきだ！」なんて言う時には、「もう殺してくれ！今すぐイエスのところへ行きたい！」と思うのです。たった1回、30-40分の預言アップデートをするのに丸1日を要するのは、次に3番目の理由。なぜ、牧師たちは聖書預言を教えないのか。これが面白いのですが、『衝撃的に預言を伝える、”預言バカ”などと自分は呼ばれたくないから。』”預言バカ””キリスト狂”など、なんでもレッテルを貼りたいなら、私は喜んでつけますよ。喜んで着ます。第4に、多くの牧師たちが聖書預言を教えない理由は、『我々の生きる今がどういう時で、キリストの来臨がどれほど近いかを、彼らが理解していない為』。これは悲しい。でもこれが、今日のクリスチャンがキリストの来臨の近いことを信じていない理由ですよ。彼らの牧師たちが信じていないのですから。牧師たちが信じていない。「主が戻ってくるとずっと言ってるけど、いまだに戻ってこないじゃないか」。私も今日それを言われました。私が思う以上に、良く耳にする言葉です。しかも牧師たちからです。「主は戻ってこないよ」「我々が生きている間になんか、戻ってこない」これが全てを物語っていますよね。これは、マタイ24章でイエスが言われた、良いしもべと悪いしもべの例えです。良いしもべは、主の戻ってこられるのを準備を整えて待ちます。悪いしもべとは、「主人はまだ帰るまい」「主人は戻ってこない」と言い、そのために、彼らは酒飲みたちと飲んだり食べたり、貪欲な生活を送るのです。

最後に、まとめに入りたいと思います。みなさんの忍耐に感謝します。

私たちの贖いが、これまで以上に近いことを証明している預言を具体的に上げていきたいと思えます。第一に、シリアに関する、イザヤ書17章。これは間もなく成就されようとしています。次に、エジプトに関する、イザヤ書19章。これは現在着々と成就されています。3つ目が、エゼキエル38章、39章の預言。私は太鼓を叩きますよ！エゼキエル38章、39章も、まさに成就されようとしています。これが私たちにどんな意味を持っているか知っていますか？これは**携拳がいつでも起こり得る**という意味です。その日、その時は誰も知りません。しかし、ルカ21：28でイエスは言いました。『これらの事が**起こり始めた**なら…』イザヤ書17章、19章、エゼキエル38章、39章が、他の多くの預言と共に、成就され始めるのを見たら、

『これらの事が**起こり始めた**なら、からだをまっすぐにし、頭を上に上げなさい。贖いが近づいたのです』(ルカ21：28)

祈りましょう。

愛なる、父なる神よ。あなたの御言葉に感謝します。また、あなたの御言葉の中で、私たちに与えられた預言に感謝します。その中で、あなたの来臨の前に、世の中がどういう状態になるのが、実に詳細に書かれています。主よ。現在、私たちが周りを見渡すと、あなたの

言われた通りのことが起こっています。すべてが、あなたがそうなると言われた通りに、起こっています。主よ。もしも、この素晴らしい教会の中、またはインターネットやテレビ、ラジオでこれを聴いている人の中に、これまで、一度もあなたを呼び求めた事の無い人がいるなら、どうか彼らが今日、あなたの御名を呼び求めて、救われますように。今日が、彼らの救いの日となりますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい